

## VI 令和5年度 島根大学との連携講座

### 令和5年度 島根大学連携講座（島根大学が提供し、鳥取県の教職員が受講できる連携講座）一覧表

分類	講座名 ～サブタイトル～	番号	期日・会場・定員	幼	小	中	高	特	対象者	内容等	外部講師 (講師の所属は R4年度のもの)
教 科 等	国語科における漢字と語彙の学習支援	1	7/20(木)～8/25(金) オンデマンド (YouTube限定公開) <1日(6時間)> 10名	○	○	○	○	○	全校種 全教科 教諭、養護教諭	この講座は、小学校や中学校の国語科において「漢字」と「語彙」の学習をどのように支援していくかを考えるための講習です。「漢字」や「語彙」に関する基礎知識を改めて解説するとともに、そのような基礎知識の上に、どのように学習支援を発想するかを学ぶ講習になっています。  実施形態 オンデマンド	島根大学教育学部 准教授 富安 慎吾
	小学校プログラミング教育のためのプログラミング講座(初級編)	2	7/21(金)～8/25(金) オンデマンド(DVD) <1日(6時間)> 10名		○				小学校、義務教育学校前期課程 (対象校種外の方でも受講可能。) 全教科 教諭	小学校のプログラミング教育について、その目的や趣旨を理解し、重要性を納得していただきます。その後、何を参考に学べばよいかを知るとともに、具体的な方法などを先行事例を参照しながら学びます。さらに、実践的・体験的な指導ができるよう、プログラミングそのものを学びます。この場合、小学校低学年向けと高学年向けに分け、プログラミングのスキルを高めていただきます。最後に、授業等における使い方を検討します。  実施形態 オンデマンド	島根大学教職大学院 教授 橋爪 一治
	学校教育の中でのSDGs活用法	3	7月24日(月) 山陰教員研修センター ハイブリッド型(対面+ YouTube Live配信) <1日(6時間)> 10名	○	○	○	○	○	全校種 全教科 教諭、養護教諭、栄養教諭、その他 (広く学校教育関係者)	幼児期から高校生まで、学校教育の中でのSDGsを活用した教育の重要性がますます増えています。生活、社会や経済、自然環境、平和や国際協調など、多くの内容を網羅したSDGsを学校教育の中の教科内外で活かすために、SDGsの基礎をおさえ教育内容についての活用方法について研修を行います。  実施形態 講義、演習 (対面+YouTube Live配信)	島根大学教職大学院 教授 松本 一郎
	図画工作科の授業と教材開発	4	7月25日(火) 山陰教員研修センター 対面 <1日(6時間)> 10名	○	○				幼稚園、保育園、小学校、義務教育学校前期課程 美術、図画工作科(対象校種・対象教科外の方でも受講可能です。) 教諭、養護教諭、その他(広く学校教育関係者)	小学校図画工作科教育における基礎的な教材を体験的に理解し、子どもが表現しやすい教材開発のコツを掘りま す。 ○ 絵に表す：着色の具体的な方法・技術(点描と陰影法)を学びます。 ○ 立体に表す：石膏を活用した造形活動で、子どもの興味・関心の高め方を学びます。 ○ 造形遊び：体全体を使って活動する「ビデオザウルスがやってきた!」の授業ビデオを視聴し、授業設定の工夫を学びます。 ○ 版に表す：普段の生活で捨てられるものから、簡単な版作りをする。刷ることの楽しさを学びます。  実施形態 実習・実験、ワークショップ (対面)	島根大学教育学部 教授 川路 澄人
	小学校社会科の授業デザインと教材開発	5	7月25日(火) 山陰教員研修センター ハイブリッド型(対面+ YouTube Live配信) <1日(6時間)> 10名		○				小学校、義務教育学校前期課程 社会(対象校種・対象教科外の方でも 受講可能ですが、専門的な内容も含み ます。) 教諭	本講習ではまず、現行小学校学習指導要領社会科について、教育改革の動向をふまえながら、その目標や内容について解説します。次に、学習指導要領社会科の特色、子どもの社会的な見方・考え方を育てる社会科授業づくりのポイントについて考察します。さらに、「主体的・対話的で深い学び」の観点からの小学校社会科授業改善や具体的な教材開発について検討します。  実施形態 講義、演習 (対面+YouTube Live配信)	島根大学教職大学院 教授 加藤 寿朗 島根大学教育学部附属義務教育学校前期課程 副校長 和田 律央 島根大学教育学部附属義務教育学校前期課程 教諭 仁宮 香
	UDLに基づく小学校算数科の指導	6	8月4日(金)午前 山陰教員研修センター ハイブリッド型(対面+ YouTube Live配信)実施 <半日(3時間)> 10名		○			○	小学校、教育学校前期課程、特別支援 学校(小学部) 数学、算数(対象校種・対象教科外 の方でも受講可能です。) 教諭、その他(広く学校教育関係者)	学校現場で、近年UDL(Universal Design for Learning)に基づく指導が目立っています。UDLは、脳科学、自己調整学習などさまざまな学習理論に基づいており、すべての学習者のために提唱されています。特に、算数の内容は体系的に学ぶ側面が強いことから、定着が不十分な場合、後の学習に支障をきたすことが多々ありますが、発想や視点を変えることで、驚くほど容易に乗り越えられることもあります。本研修では、算数科の学習内容をについて、UDLに基づく具体的な指導方法や支援とその準備の仕方を考えます。  実施形態 講義 (対面+YouTube Live配信)	島根大学教育学部 教授 御園 真史
	中学校・高等学校数学科統計領域の教材研究	7	8月4日(金)午後 山陰教員研修センター ハイブリッド型(対面+ YouTube Live配信)実施 <半日(3時間)> 10名			○	○		中学校、義務教育学校後期課程、高等 学校、中等教育学校 数学(対象校種・対象教科外の方でも 受講可能ですが、専門的な内容も含み ます。) 教諭、その他(広く学校教育関係者)	日常生活にもAIが普及し、活用される時代となり、ますますデータサイエンス教育の指導が重要になってきています。そのような中、学習指導要領が改訂されるごとに統計指導が充実してきています。本研修では、時間が限られていることから、中学校第3学年標本調査、高等学校数学I仮説検定に特に焦点を充て、指導内容に関する基本事項を踏まえ、それらが世の中でどのように使われているか、そして、ICTを活用したシミュレーションの指導例を紹介いたします。  実施形態 講義、演習 (対面+YouTube Live配信)	島根大学教育学部 教授 御園 真史
	小学校「外国語活動」「外国語科」の理論と実践	8	8月7日(月) 山陰教員研修センター ハイブリッド型(対面+ YouTube Live配信) <1日(6時間)> 10名	○	○	○	○	○	全校種 外国語(対象教科外の方でも受講可能 です。) 教諭、その他(広く学校教育関係者)	動画による講義の視聴と課題への取り組みを通して、学習指導要領に示されている小学校「外国語活動」「外国語科」の目標・意義・評価について理解することに加え、外国語を学ぶ意義や児童の発達段階・学習者要因に応じた指導の在り方、小・中の接続の在り方や中・高等学校へと続く外国語学習についても理解を深めます。2020年度から求められている高学年での評価についても、動画による講義を通して理解を深め、実際に評価計画を含めた単元計画・指導案を作成する課題を実施します。  実施形態 講義、演習 (対面+YouTube Live配信)	島根大学教育学部 講師 篠村 恭子

分類	講座名 ～サブタイトル～	番号	期日・会場・定員	幼	小	中	高	特	対象者	内容等	外部講師 (講師の所属は R4年度のもの)
教 科 等	教育評価の新たな地平	9	8月7日(月) 山陰教員研修センター 対面 <1日(6時間)> 10名		○	○	○		小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校 全教科(対象校種外の方でも受講可能ですが、専門的な内容も含まれます。) 教諭	本講習では、まず戦前から現代に至るまでの教育評価の歴史の変遷を踏まえ、評価の意義を再考していきます。続いて、5W1Hの視点を踏まえた評価のデザイン、真正の評価の考え方から着目されるパフォーマンス評価とポर्टフォリオ評価の意義とその方法を確認します。 21世紀型スキル等の海外における資質・能力の議論から、新しい学習指導要領の意義を踏まえ、「主体的・対話的で深い学び」に関する評価を検討していきます。 実施形態 講義、演習 (対面)	島根大学教育学部 教授 深見 俊崇
	授業に活かす体育教育学と授業を支える体育心理学	10	8月8日(火) 山陰教員研修センター ハイブリッド型(対面+YouTube Live配信) <1日(6時間)> 10名	○	○	○	○	○	全校種 保健体育(対象教科外の方でも受講可能ですが、専門的な内容も含まれます。) 教諭、その他(広く学校教育関係者)	本講習は、小学校・中学校・義務教育学校および高等学校における体育授業の改善に活用することができる学習指導の基礎について、理解することを目標としています。そのため、体育科教育学および体育心理学のそれぞれの観点から体育授業の改善に関する講義を行います。 実施形態 講義、演習 (対面+YouTube Live配信)	島根大学教職大学院 准教授 久保 研二 島根大学教育学部 講師 須崎 康臣
	地域問題解決型探究学習の開発	11	8月22日(火)午後 山陰教員研修センター ハイブリッド型(対面+YouTube Live配信) <半日(3時間)> 10名		○	○	○	○	小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校、高等学校、特別支援学校 (対象校種外の方でも受講可能です。) 全教科 教諭、養護教諭、栄養教諭	新しい学習指導要領では社会に開かれた教育課程の実現が求められていますが、それは何故なのでしょう。地域と協働して教育活動を展開していく意義や価値を踏まえつつ、多くの学校で実施されている地域課題解決型の探究学習をいかに設計し、動かしていくかを考えていくための講座です。 実施形態 講義、演習 (対面+YouTube Live配信)	島根大学教職大学院 准教授 中村 伶詞
	授業をみて学ぶ数学科の指導	12	9月22日(金)午後 島根大学附属義務教育学校 後期課程 対面 <半日(3時間)> 10名				○	○	中学校、義務教育学校後期課程、高等学校、中等教育学校 数学(対象校種・対象教科外の方でも受講可能ですが、専門的な内容も含まれます。) 教諭、その他(広く学校教育関係者)	資質・能力3つの柱の育成を目指している新学習指導要領の算数・数学科において、主体的・対話的で深い学びを実現する授業デザインはどうあるべきでしょうか。本研修では、附属学校での数学科での授業公開および協議、さらに講義を通して、自らの算数・数学に対する教材観・指導観を深化させ、勤務校での取り組みに活かせるように省察します。 実施形態 講義、ワークショップ (対面)	島根大学教育学部 教授 御園 真史
	「特別の教科 道徳」を要とした新しい時代の道徳教育	13	11月7日(火)午後 山陰教員研修センター 対面 <半日(3時間)> 8名			○	○	○	小学校、中学校、義務教育学校、特別支援学校(小学部・中学部)(対象校種外の方でも受講可能ですが、専門的な内容も含まれます。) 全教科 教諭	本講習では、近年の道徳教育の政策動向を踏まえ、これからの道徳教育の在り方について、講義と演習を通じて理解を深める。具体的には、①「特別の教科 道徳」が目指す授業づくりのポイントについて概説した上で、②実際に、読み物教材を用いてグループワーク等を行います。 実施形態 講義、演習 (対面)	島根大学教育学部 准教授 塩津 英樹
	授業をみて学ぶ算数科の指導	14	11月28日(火)午後 島根大学附属義務教育学校 前期課程 対面 <半日(3時間)> 10名		○	○	○		小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校 数学、算数(対象校種・対象教科外の方でも受講可能ですが、専門的な内容も含まれます。) 教諭、その他(広く学校教育関係者)	資質・能力3つの柱の育成を目指している新学習指導要領の算数・数学科において、主体的・対話的で深い学びを実現する授業デザインはどうあるべきでしょうか。本研修では、附属学校での算数科の授業公開および協議、さらに講義を通して、自らの算数・数学に対する教材観・指導観を深化、勤務校での取り組みに活かせるように省察します。 実施形態 講義、ワークショップ (対面)	島根大学教育学部 講師 下村 岳人
	令和の日本型学校教育の実現を目指した探究学習指導・STEAM教育のノウハウ(基礎編)	15	12月15日(金)午後 山陰教員研修センター ハイブリッド型(対面+YouTube Live配信) <半日(3時間)> 10名	○	○	○	○	○	全校種 全教科 教諭、その他(広く学校教育関係者)	「令和の日本型学校教育」では、探究的な学びがされています。特に、高等学校では、従来のSSH校での課題研究等に加え、「総合的な探究の時間」や「理数探究」が設定されました。しかし、こういった探究的な学びをどう指導していけば良いのかは悩むところです。そこで、本研修では、探究的な学びやSTEAM教育などについて改めて考え、特に、アカデミックスキルに注目し、論理構成に注目した資料の探し方、引用の仕方、スライドのまとめ方、プレゼンテーションの指導について要点を絞って学びます。 実施形態 講義・ワークショップ (対面+YouTube Live配信)	島根大学教育学部 教授 御園 真史 島根大学教育学部 教授 深見 俊崇 島根大学教職大学院 講師 松尾 奈美
教 育 課 題	学校の危機管理と組織マネジメントを考える	16	8月21日(月)午後 山陰教員研修センター 対面 <半日(3時間)> 10名	○	○	○	○	○	全校種 全教科 教諭、養護教諭、栄養教諭、その他(広く学校教育関係者)	急激な社会の変化、次々押し寄せる教育改革の波さらにコロナ禍の混乱の中で進行するICTの導入等、教育現場は大きな動きに振り回されています。このような現状での教職員の危機管理意識の低下は大きな問題です。ここでは、教育現場に潜む危機管理問題について具体的な事例を挙げながら考えてみたいで。	鳥取市立学校アドバイザー 元鳥取市教育委員会次長 元鳥取市立北中学校校長 元島根大学教育学部特任教授 木下 公明
	チーム学校の可能性を拓く	17	8月22日(火)午前 山陰教員研修センター 対面 <半日(3時間)> 10名	○	○	○	○	○	全校種 全教科 教諭、養護教諭、その他(広く学校教育関係者)	働き方改革の導入により教育システム、教職員の意識が今大きく変わりつつあります。ここでは今後ますます重要になってくる連携教育を一貫教育と合わせて、チーム学校という視点で考えてみたいで。連携の必要性は理解するが何故実践できないのか、現場の様々な場面をとらえて考えてみたいで。	鳥取市立学校アドバイザー 元鳥取市教育委員会次長 元鳥取市立北中学校校長 元島根大学教育学部特任教授 木下 公明
	教師の働き方改革 ～研究と現場との交流を通して考える～	18	8月25日(金) 山陰教員研修センター ハイブリッド型(対面+YouTube Live配信) <1日(6時間)> 10名	○	○	○	○	○	全校種 全教科 教諭、養護教諭、栄養教諭、その他(広く学校教育関係者)	近年注目を集めている教師の働き方について、政策的動向と全国調査のデータから現状を学びます。そのなかで、社会調査についての基本的な考え方、データの見方についてもお話しします。皆様が直面している学校の働き方について、参加者同士での意見交流や、他自治体の取り組み事例などの共有をふまえて、これからの教師の働き方について考察します。 実施形態 講義、演習	静岡大学教職センター 特任助教 上地 香社

分類	講座名 ～サブタイトル～	番号	期日・会場・定員	幼	小	中	高	特	対象者	内容等	外部講師 (講師の所属は R4年度のもの)
教育 課題	学校の組織マネジメントと危機管理(仮)	19	9月26日(火)午後 山陰教員研修センター 対面 <半日(3時間)> 10名	○	○	○	○	○	全校種 全教科 教諭、養護教諭、栄養教諭	本講習では、まず、近年の教育改革から学校における組織マネジメントと危機管理にかかわる諸動向を確認した上で、今後の学校組織とマネジメント、危機管理の在り方とその課題について理解を深めます。 実施形態 講義、演習 (対面)	島根大学教育学部 講師 小早川 倫美
	学校における「多文化共生」 (現職教員研修と共同開講)	20	10月6日(金) 午前 ZOOM <半日(3時間)> 10名	○	○	○	○	○	全校種 全教科 教諭、養護教諭、その他(広く学校教育関係者)	本研修では、学校教育における「多文化共生」について、その学術的な議論を踏まえつつ、実践に関わる知見を深めることを目指します。本研修を受講することにより、主に次の成果を得ることが期待できます。①「多文化共生」に関わる学術的議論を理解することができる。②外国の「多文化共生」に関わる実践例から参照できる点を導き出すことができる。③日本の学校教育における「多文化共生」の実践を具体的に考案することができる。 実施形態 講義 (ZOOM)	兵庫教育大学大学院学校教育研究科 講師 坂口 真康
	教室空間におけるインクルージョン (現職教員研修と共同開講)	21	10月6日(金) 午後 ZOOM <半日(3時間)> 10名	○	○	○	○	○	全校種 全教科 教諭、養護教諭	本研修では、以下の2つの問いについて参加者とともに考えます。 ①インクルージョン(包摂)とはどのような状態のことを指すのか ②特定の子どもの参加を阻んでいるものは何か 当日は教育社会学や障害学等の知見を学んだあとで、参加者同士でディスカッションをする予定です。これらの活動をを通して、「インクルーシブ教育」をめぐる既有知識を更新していくことを目指します。 実施形態 講義、演習 (ZOOM)	常葉大学健康プロデュース学部 准教授 羽田野 真帆
	統計からみた山陰の教育 ～データに基づいた思考法～	22	11月14日(火)午後 山陰教員研修センター ハイブリッド型(対面+ YouTube Live配信) <半日(3時間)> 10名	○	○	○	○	○	全校種 全教科 広く学校教育関係者	本研修では、統計データを用いて山陰の教育を読み解いていきます。この際、山陰の教育の特徴を理解することに加えて、データを用いた簡単な解析を受講者自身が行うことで、統計データの解釈の仕方についても学びます。これらを通して、データに基づいた思考とそれに基づいた教育実践について考えます。 実施形態 講義、演習 (対面+YouTube Live配信)	島根大学教育学部 講師 津多 成輔
生徒指導・ 教育相談・ 特別支援教育	児童・生徒のこころの理解 ～愛着の視点から～	23	8月21日(月)午前 山陰教員研修センター 対面 <半日(3時間)> 10名	○	○	○	○	○	全校種 全教科 教諭、養護教諭、その他(広く学校教育関係者)	教育現場では、様々な問題の言動を呈する子どもたちがいます。その対応や支援をどのようにしたらよいかを、発達障害だけでなく、愛着の問題の視点も入れて考える研修にしたいと思います。 実施形態 講義 (対面)	島根大学教育学部 教授 福垣 卓司
	いじめの早期発見・早期対応 ～小中の事例を基に考える～	24	8月23日(水) 山陰教員研修センター 対面 <1日(6時間)> 10名	○	○	○	○	○	小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校、高等学校、特別支援学校 (対象校種外の方は受講できません。) 全教科 教諭、養護教諭	小中学校における、いじめの発生件数は増加している。しかし、いじめをいじめと認知しないで、児童生徒間の人間関係のトラブルと置き換えたり、普段ありがちな問題と捉えたりして対応が遅れ、中には重大事態に発展したり、命にかかわったりする事案も見られる。重大事態から見える学校におけるいじめの対応の課題や事例を基に、組織の一員としての在り方や保護者対応について受講者同士でも意見を交わし、早期発見、早期対応のヒントを探る。 実施形態 講義、演習 (対面)	元島根大学教職大学院特任教授 三島 修治 小村臨床心理士事務所所長 元浜田児童相談所所長 小村 俊美 原 市弁護士事務所 島根県弁護士会 弁護士 原 市
	障がいのある子を養育されている保護者の「語り」からの学び	25	9月28日(木)午後 山陰教員研修センター 対面 <半日(3時間)> 10名	○	○	○	○	○	全校種 全教科 教諭、養護教諭、その他(広く学校教育関係者)	園や学校において、保護者と連携して子どもを育てていくことは重要かつ不可欠であることは誰もが理解しています。しかし、実際の「連携」は容易ではなく、「〇〇すればいい」といった正解があるわけでもありません。そこで本講習では、特別な支援を必要とするお子さんを育てるある一人の保護者を招き、子育てのこれまでと今、そして未来を語っていただくことを通して、園や学校での関わりを吟味、考察します。その上で、園や学校とすれば、何を大切に、どんなことを、どのように行えばよいのかについて検討します。 実施形態 講義、ワークショップ (対面)	島根大学教職大学院 教授 原 広治
	子ども理解とかかわり ～特別支援教育の視点から～	26	10月5日(木)午後 山陰教員研修センター ハイブリッド型(対面+ YouTube Live配信) <半日(3時間)> 10名	○	○	○	○	○	全校種 全教科 教諭、養護教諭、その他(広く学校教育関係者)	子供の発達に関する脳科学、心理学等の最新の知見、そして、これからの特別支援教育の在り方について理解を深めるとともに、現代の子供の生活変化によって生じる諸課題について検討する。 実施形態 講義 (対面+YouTube Live配信)	島根大学教職大学院 教授 原 広治
	エピソード記述を活用した子ども理解とかかわり	27	10月24日(火)午後 山陰教員研修センター 対面 <半日(3時間)> 10名	○	○	○	○	○	○	全校種 全教科 教諭、養護教諭、その他(広く学校教育関係者)	幼稚園や学校で行われている事例検討会には、対象とする子どもに関連した出来事といった誰が見てもそうだと思うもの、つまりは客観性の高い情報が資料として提示されることが多いです。しかし、そこには子どもの思いや願いなどの目には見えない心の部分を示されることが少ないことから、協議の中で、どのような気持ちで「今」を過ごしているのかといった子どもに寄り添う教師の語りは表出されにくい。そのため、教師は、子ども自身の肯定感を育むには子どもに自らの心をもち寄せ関わるのが大切であると理解していても、それに関する具体の関わりについての協議がなされていないのが現状ではないでしょうか。そこで本講習では、「〇〇には〇〇を」といった技法ではなく、子どもの心やその育ちを描くための方法としてエピソード記述を紹介し、それを実際に描き、協議することで子ども理解を深め、それをふまえた支援のあり方の検討を体験的に学修します。 実施形態 講義、演習 (対面)